

令和4年度第2回越谷市文化財調査委員会

日 時 令和4年10月19日(水)午後1時30分～
会 場 越谷市役所第第二庁舎5階 会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
 (1)文化財保護事業結果について
 〔令和4年度4月～9月末実績〕
- 4 そ の 他
 (1)宮本町迎撰院からの申し出について
- 5 閉 会

3 報告事項

(1)文化財保護事業結果について〔令和4年度 4月～9月末実績〕

①文化財の指定及び解除に関すること

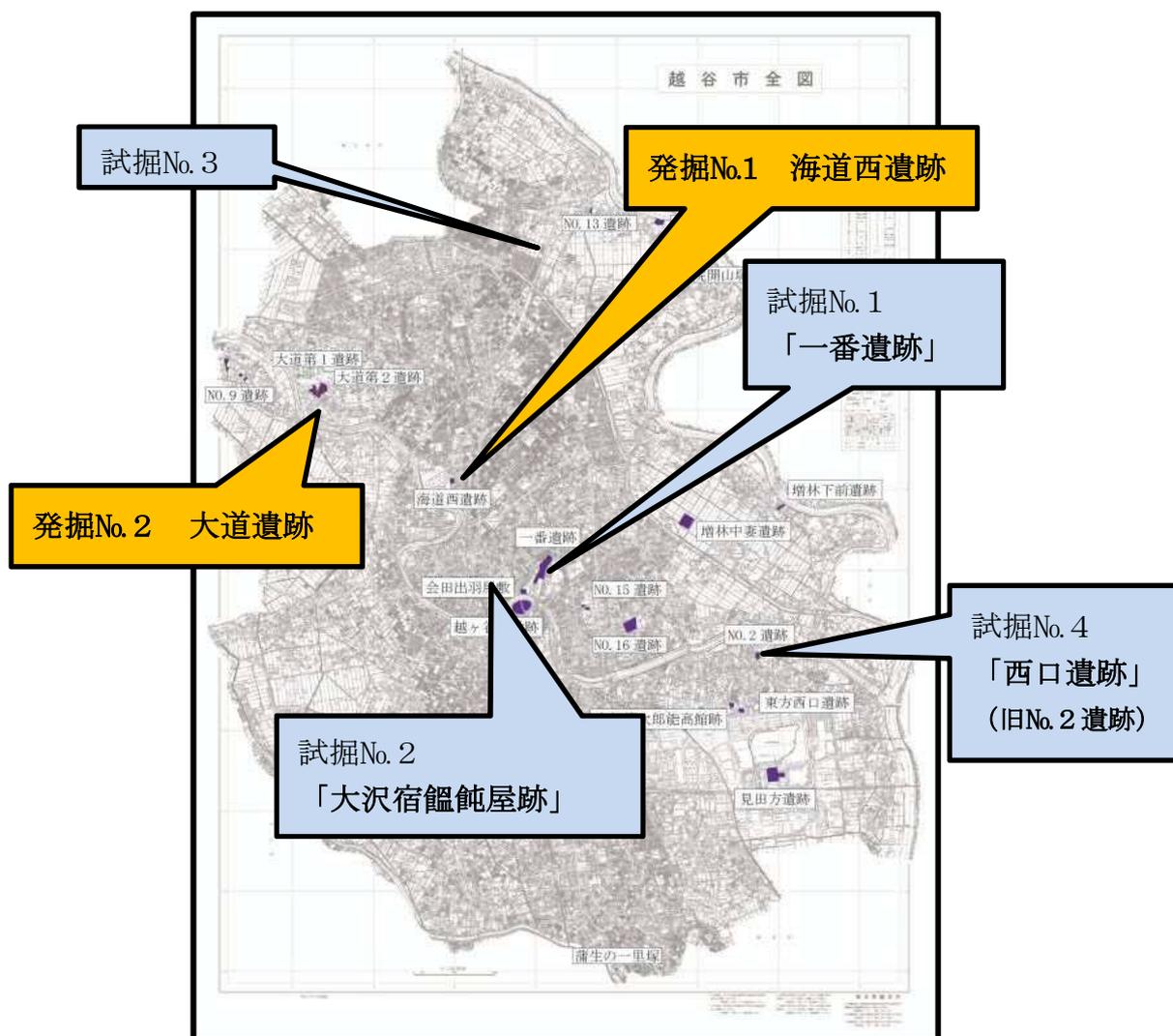
特になし

②埋蔵文化財の発掘に関すること

試掘調査は4か所実施し、2か所で遺跡を確認。うち一か所は新たに埋蔵文化財包蔵地として登録。

発掘調査は2か所実施。

埋蔵文化財包蔵地地図（試掘・発掘地点）



<試掘調査>

No.	遺跡名など	場所	調査期間	目的	結果
1	一番遺跡	越ヶ谷 1700 付近	R4.5.25	防災倉庫 建設	遺構なし
2	大沢宿饅飩 屋跡	大沢1丁目 地内	R4.6.21	公園整備	近世陶磁器(18世紀)を 確認。 新たに埋蔵文化財包蔵地 として登録
3	—	大泊地内	5日間 R4.7/4・5・ 7・8・12	消防署設 置	遺構なし
4	西口遺跡 (旧No.2遺跡)	大成町地内	R4.9/9	個人専用 住宅	平安時代の遺構と遺物を 確認。 埋蔵文化財包蔵地を拡大 し、名称を「西口遺跡」と変 更



<試掘番号2> 大沢宿饅飩屋跡(大沢一丁目)

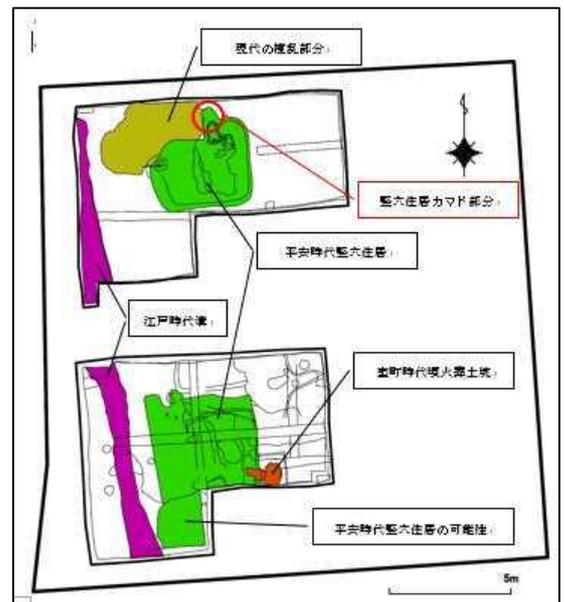
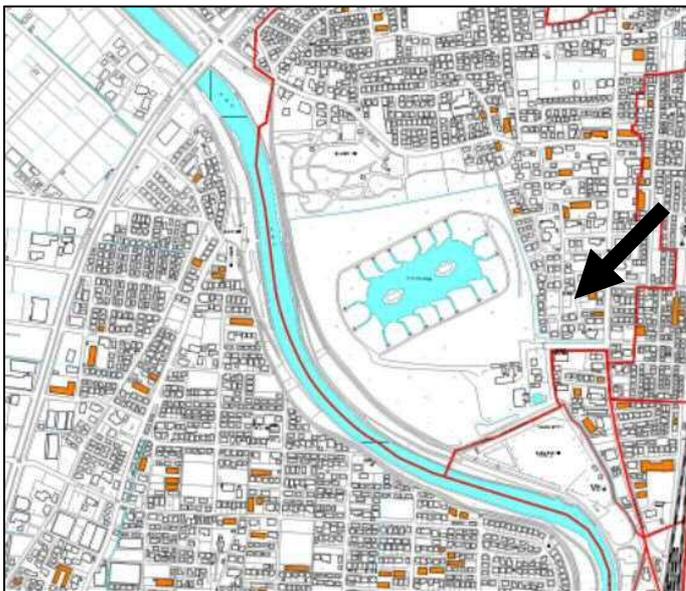


<試掘番号4> 西口遺跡(旧No.2遺跡)(大成町)

<発掘調査>

No.	遺跡名など	場所	調査期間	目的	結果
1	海道西遺跡	大林地内	R4.4.11～ R4.5.13	宅地開発	【原因者負担で調査】 元荒川左岸、河畔砂丘上の遺跡。平安時代(9世紀)の住居跡2基、室町期の火葬土坑1基、江戸時代の溝1条を調査。
2	大道遺跡	大道地内	R4.9.29～	区画整理	調査中

<発掘調査No.1>海道西遺跡



③無形文化財の助成に関すること

特になし

④指定文化財の修理復旧又は滅失、き損防止の措置に関すること

特になし

⑤指定文化財の現状変更の許可及び環境の保全のため必要な施設の勧告に関すること

特になし

⑥指定文化財の買収に関すること

特になし

⑦文化財の出品公開に関すること

指定文化財の所有者による公開が3件行われた。

【所有者・保持団体による公開】

No.	指定区分	文化財名	所有者 保持団体	公開日	備考
1	県	木造伝正観音菩薩坐像	林泉寺	4月17日(日)	—
2	県	下間久里の獅子舞	下間久里 獅子舞連中	7月17日(日)	中止
3	県	北川崎の虫追い	北川崎自治会	7月24日(日)	
4	国	木造地蔵菩薩立像	浄山寺	8月24日(水)	—

⑧その他、文化財の保存及び活用に関し必要と認める事項

< ⑧—1 文化財の施設管理に関すること >

(1)施設修繕

- ・施工中 3 件(No.1・2・3)……大間野町旧中村家住宅
- ・施工済 3 件(No.4・5・6)……大間野町旧中村家住宅

No.	修繕箇所	修繕内容	実施状況など
1	主屋壁	令和3年10月7日に発生した千葉県北西部を震源とする地震により、主屋の壁6ヶ所に亀裂が生じ、奥座敷の京壁が浮いてしまったため、修繕を行う。	【施工中】 履行期間：R4年11月30日
2	長屋門下り棟鬼瓦	長屋門北西の鬼瓦が落下しており、その他の瓦も落下の危険性があるため、鬼瓦を再設置し下り棟のずれを直す修繕を行う。	
3	北側施設名看板	経年劣化で板面の文字が薄くなり判読しにくいとなっていることから、板面の修繕を行う。また、大間野町旧中村家住宅が令和3年度に国登録有形文化財(建造物)に登録されたため、新たな板面には文化財名称を記載する。	【施工中】 履行期間：R5年3月20日
4	主屋受付コンセント	主屋受付内のコンセント差込口が経年劣化で壁から外れそうになっているため、交換修繕を行う。	【施工済】 施工日：R4年4月21日 【結果】 開館後に追加で設置した受付用コンセントを2口から3口に変更した。
5	電話線修繕	【緊急修繕】敷地内電話線が断線により不通となり、交換した。	【施工済】
6	浄化槽ブロワー修繕	【緊急修繕】浄化槽ブロワーが故障したため交換した。	【施工済】



【施工前】主屋壁修繕(大戸口脇土壁)



【施行中】荒壁施工の様子

(2)施設の利活用

大間野町旧中村家住宅及び旧東方村中村家住宅の公開・活用は、徹底した感染防止対策を講じながら実施している。

施設を活用した主催事業の実施にあたっては、参加者が安全な距離を保って参加できるよう定員を制限し、事業の内容に応じて座席の配置を工夫している。

【入館者実績】（9月末時点）

施設名	項目	開館日	入館者	入館料
大間野町 旧中村家住宅	実績	157日	517人	47,900円
	前年同期	157日	512人	41,350円
	前年比	0日	5人	6,550円
旧東方村 中村家住宅	実績	157日	872人	56,620円
	前年同期	157日	2,107人	69,350円
	前年比	0日	▲1,235人	▲12,730円

【活用事業】

施設名	学校利用	主催事業等
大間野町旧中村家住宅	0校	1事業
	0人	161人
旧東方村中村家住宅	1校	4事業
	16人	21人

<主催事業など実績>

【大間野町旧中村家住宅】

事業名	開催日	参加人数	内容など	備考など
<連携展示> 「埼玉県東部と近代の皇室―越谷への行幸・行啓と埼玉鴨場―」	7/20(土) ～9/4(日) (41日間)	161人	明治天皇の巡幸・江戸川筋御猟場・埼玉鴨場等、越谷市と近代の皇室の関わりについてパネル展示。	春日部市・宮内庁、草加市、八潮市、杉戸町、幸手市、久喜市と同時開催。 各市町に残る明治天皇行幸に関する展示を開催。

【旧東方村中村家住宅】

事業名	開催日	参加人数	内容など	備考など
① 自分の絵巻物を作ろう	7/29 (金)	7人	小学生を対象として身近なものを使って絵巻物を作り、持ち帰った。	(定員)8名
② 見田方遺跡と勾玉づくり	7/31 (日)	8人	小学生を対象として見田方遺跡出土の勾玉を観察したのち、キッドを使って勾玉を作成。	(定員)8名 NPO 法人越谷ふるさとプロジェクト共催
③ 布ぞうり作り	9/20 (火)	7人	日本の伝統的な履物である草履作りを体験することで、伝統文化のさらなる普及と継承を図る	
⑦ 昔のおもちゃを作って遊ぼう	9/24 (土)	10人	小学生を対象として竹を使った空気鉄砲やセミ笛等を作成。	



「連携展示」の様子(大間野)



「自分の絵巻物を作ろう」の様子(東方)



「見田方遺跡と勾玉づくり」の様子(東方)



「布ぞうり作り」の様子(東方)

< ⑧—2 文化財調査事業に関すること >

(1)文化財基礎調査

(A)「越ヶ谷秋まつり」調査

令和4年度の「越ヶ谷秋まつり」は中止となったことから、越ヶ谷秋まつりを検証するために令和5年度に予定しておりました調査を先行して進めている。

調査事項は、①大沢地区で保存されている山車人形及び山車部材の調査、②川柳地区で保存されている山車が描かれた奉納額の調査を予定している。

<調査対象1> 大沢地区で保存されている山車資料

町名	山車資料	概要
大沢一丁目	山車人形の一部と幕	人形はタジカラオ。頭・足・刀・衣装など現存。山車の幕もあり。山車部材はなし。
大沢二丁目	山車人形と山車部材の一部	人形はアメノウズメ。山車は江戸単層型。
大沢三丁目	山車部材	山車は三輪・一本柱万灯型。今年の8月に再発見された。人形はなし。

①大沢一丁目：山車人形の一部と幕



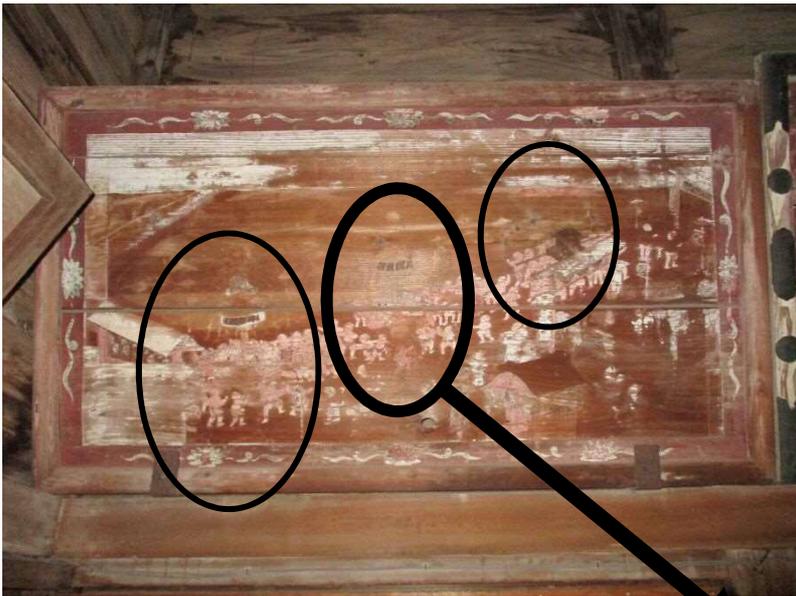
②大沢二丁目：山車人形と山車部材の一部



③大沢三丁目：山車部材



<調査対象2>川柳女体神社の奉納額



(B)石造物調査

【調査地区】 出羽地区

(越谷市大間野町、宮本町、神明町、谷中町、七左町、新川町)

【調査期間】 令和5年3月24日

【調査方法】 直営

【経過】

①既存報告資料の確認 (5日間:7/25・27・8/1・2・3)

『越谷市金石資料集』・『出羽地区の石仏(加藤幸一氏)』で報告されている資料の現状を確認。既存報告をもとに現地で石造物を観察し、像高などの計測、像形や持物などの写真撮影、既存報告にはない特徴箇所の記録を実施。

現在、委託業者が撮影写真などを整理中。

②既存報告以外の石造物確認(10月～)

既存報告にない石造物を確認するため、調査対象地区内を踏査する。調査箇所は地区内の墓所や無住の社寺を中心に実施。

< ⑧—3 文化財の普及に関すること >

(1)「郷土資料館のあり方」検討

令和4年度は、①本市と地域的・歴史的背景が近い中核市及び近隣市町村の博物館・郷土資料館への調査、②市内に所在する文化財や市所有資料の保管状況などの現状に関する調査を予定している。

①本市と地域的・歴史的背景が近い中核市及び近隣市町村の博物館・郷土資料館への調査

1 年次計画

< 令和4年度前半 >

埼玉県内の自治体を対象にして、郷土資料館等の機能のうち広い面積を必要とする収蔵庫・収蔵施設の設置状況についてアンケート調査を実施し、資料の収蔵方法の実態を把握することから着手している。

< 令和4年度後半 >

関東圏の中核市及び近隣市町村を対象として収蔵庫・収蔵施設に限定をせず、施設の特徴や規模、重視している活動、現状及び課題等についてアンケート調査を実施予定としている。

2 結果概要

郷土資料館等の施設内に十分な収蔵庫・収蔵施設を確保しているのは2自治体、郷土資料館等の施設は無いが一か所で保管しているのは2自治体である。残る54自治体は、郷土資料館等の有無に関わらず、現在本市で行っているような分散しての資料保管を行っている。

分散しての資料保管場所として利用されているのは、空き教室、廃校となった学校、プレハブ、図書館、庁舎内の空調管理の部屋、民間倉庫、などとなっている実態を把握することができた。

②市内に所在する文化財や市所有資料の保管状況などの現状に関する調査

市内12地区ごとに文化財や歴史的事象についてリスト化を実施中。

(2)文化財講演会の開催

令和4年7月9日に埼玉県立近代美術館 佐藤 あゆか 氏を講師として「越谷市ゆかりの画家～斎藤豊作・倉田弟次郎～」を開催した。

当日は越谷市指定文化財「風景」を会場へ展示して公開した。

開催日:7/9(土) 参加人数:82人

(3)連携展示の開催

大間野町旧中村家住宅を会場として、連携展示「埼玉県東部と近代の皇室－越谷への巡幸・行啓と埼玉鴨場－」を開催して、明治天皇の巡幸・江戸川筋御猟場・埼玉鴨場等、越谷市と近代の皇室の関わりについてパネル展示を実施。

春日部市郷土資料館と宮内庁書陵部の合同企画展「明治天皇と春日部～巡行・御猟場・梅田のごぼう～」の連携展示として開催。

連携展示は草加市・八潮市・杉戸町・幸手市・久喜市でも同時開催し、各市町に残る明治天皇行幸に関する展示を開催。

開催期間:7/20(土)～9/4(日) 来館人数:161人

(4)越谷市文化財ボランティア活動(在宅活動実施・新規募集なし)

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新規募集は行わず、令和3年度からの活動継続希望者27名に対し、3種類の活動メニューを提示し活動希望を募り、現在活動中。

(活動1)市刊行物のテキスト化

(活動2)市所蔵文書の翻刻

(活動3)『越谷市史』からの出典抽出

(5)文化財に係る情報発信

市域の歴史・文化財等について話題を提供するため、毎月1号程度のペースで情報発信チラシ「古民家だより」を発行。情報発信の方法は、市ホームページへの掲載のほか、大間野町旧中村家住宅・旧東方村中村家住宅での掲示、市立図書館での配架を行っている。

令和4年度は第42号から第47号までを発行。

市ホームページの閲覧数 1,657件(令和4年8月30日現在)

区分	内容
発行号数	第42号(令和4年5月6日)～第47号(令和4年9月26日)
閲覧数	1,657件(令和4年4月1日～令和4年8月30日)第46号まで

< ⑧—4 文化財資料等整備に関すること >

(1) デジタルアーカイブの検討



デジタル化作業を進めると共に、画面構成等に関する検討を進めている。

左図はトップページ画面のイメージ。

※現在表示されている画像は公開時には変更となる予定。

(2)保存資料の燻蒸及び脱酸性化处理

①資料の燻蒸:山崎家文書(文書保存箱5箱分)

➡令和3年度に寄贈された資料のうち大型資料を除く全てを燻蒸終了。

②脱酸性化处理:行政文書 13 点

4 その他

宮本町迎摂院からの申し出について

(主訴)

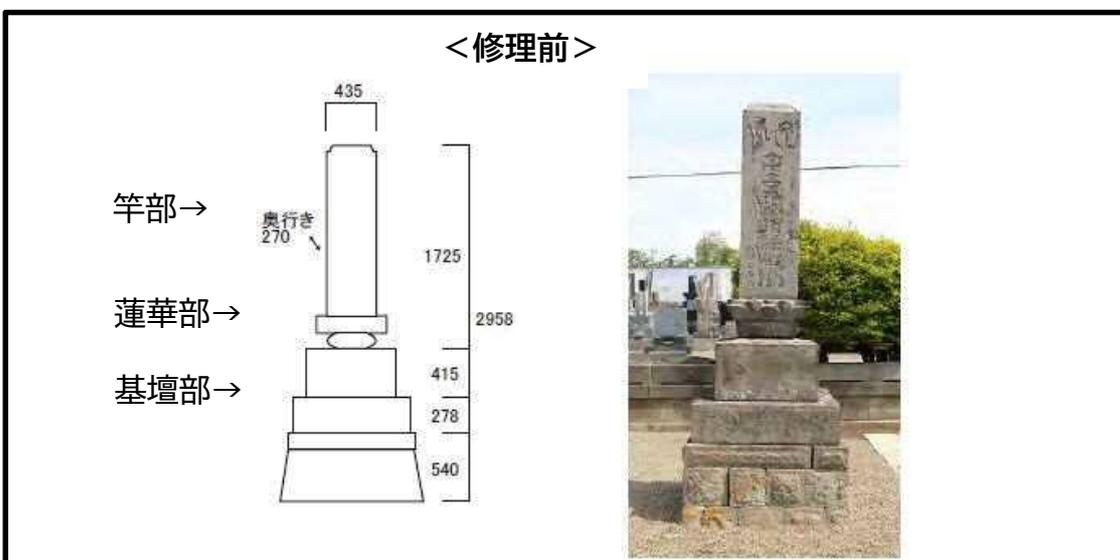
迎摂院住職塚田有祥氏から教育委員会宛てに、『境内地にある「木食観正碑」について越谷市指定文化財に指定されないか検討して欲しい』との申し出があり。

(石碑の概要)

木食観正(宝暦4年(1754)～文政12年(1829))は淡路島洲本大工町に生まれ、木食僧として全国を遍歴し、文政元年(1818)から小田原宿での活動が評判となり、文政2年には江戸湯島円満寺で加持祈禱を始める。その後中山道を経由して北関東などでの活動を行う。埼玉県内では中山道沿いで活動(蕨市・川口市)の記録が残されている。

宮本町迎摂院の「木食観正碑」は文政4年(1821)建立の石碑で、竿部分には「ア・ウンの梵字」、「南無大師遍照金剛」、「木食観正」と彫られており、蓮華座部分には「光明真言講中」、基壇部分には市内外65村の村々の賛同者名が記されている。世話人は本町油屋伊右衛門、松伏村五右衛門、槐戸村八蔵。

木食観正に関する先行研究では日光道中での活動記録はなく、越谷地域における幕府による寺院体制によらない遊行僧による加持祈禱をはじめとする民衆救済・民間信仰を知ることができる資料。木食観正に関する石碑は、埼玉県内で3例目(うち1例は所在不明)、越谷市内では1例のみ。



<修理前>



